

筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会（第5回） 議 事 要 旨

■日 時：令和7年9月26日（金） 15:00～16:45

■場 所：久留米ステーションホテル 会議室

■出席者：（委 員）古賀委員長、乾委員、嶋田委員、中島委員、西野委員、広渡委員、山根委員、
塚原委員（代理出席 藤岡技術副所長）
（事務局）7名
（オブザーバー）朝倉市

■配布資料：

- ・議事次第
- ・資料－1 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会出席者名簿
- ・資料－2 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会規約
- ・資料－3 筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会の公開方法について
- ・資料－4 筑後川水系ダム群連携環境保全委員会（第4回）議事要旨
- ・資料－5 筑後川水系ダム群連携事業における環境保全への取り組み（本編）
- ・資料－6 筑後川水系ダム群連携事業における環境保全への取り組み（概要版）
- ・資料－7 小学生高学年向け環境冊子（案）

■審議内容等：

1) 筑後川水系ダム群連携事業における環境保全への取り組み（概要版）について

資料－6について事務局から最終案を説明し、一部修正の上、公表することで委員会の了承を得た。主な意見は下記の通り。

- ・環境保全対策の事後調査で調査やモニタリングの実施だけでなく、検討及び対策に努めることを追記する。
- ・第1部2.3 環境調査及び環境保全委員会の開催に委員名を提示する。
- ・第1部3.4 「図3-1 ネイチャーポジティブの考え方」に示す生物多様性の状態曲線の終点は破線とし、長期的な取り組みとする観点から図中に示されていた「2050年」は削除する。
- ・第2部2.4 動物 事業影響の予測の対象とする種にクビボソコガシラミズムシを追記する。
- ・法令・技術基準は最新の改定年月を記載する。

2) 小学生高学年向け環境冊子（案）について

資料－7について事務局から説明した。主な意見は下記の通り。

- ・レア度については、筑後川の現状に即した設定が望ましいため、福岡県のレッドデータベースに準拠する案と独自の基準で設定する案の両方について検討が必要である。
- ・取水樋門の水際植生回復イメージ図について、「川の流れのゆるやかな場所をつくる」ため、護岸を曲線にすると良い。

3) 今後の環境保全の取り組みについて

今後の環境保全の取り組みについて事務局から説明した。主な内容は下記の通り。

- ・「筑後川水系ダム群連携事業における環境保全の取り組み（本編、概要版）」は、委員会の議事要旨とともに 10 月上旬を目途に筑後川上流総合管理所ホームページにて公表する。
- ・小学生高学年向け環境冊子（案）は必要に応じて本委員会の継続委員会にて引き続き作業を進める。
- ・今後の進め方に関して、事務局から工事や環境へ配慮に関する専門的な助言を得ることを目的とした委員会の設置について提案し、委員会の了承を得た。当面、年 1 回程度の開催とし、必要に応じて開催回数を増やすこと、現場確認を実施することについても了承が得られた。

4) その他

事業予定地である朝倉市がオブザーバーとして出席し、以下の意見を述べた。

- ・筑後川水系ダム群連携事業環境保全委員会にオブザーバーとして出席し、事業地自治体として意見を述べる機会を頂いたことに感謝する。事業地の懸念事項について真摯に受け止めていただき、環境レポートに反映されたことについても感謝する。委員会において丁寧な審議を行っていただいた有識者の皆様にも朝倉市を代表して感謝を申し上げる。事業者に対しては工事期間中のみならず、事業完了後もしっかりモニタリングしていただき、朝倉市との情報共有に努めていただきたい。

以 上